

9 富士山が2つ見える!?

空気が澄んだ秋、登山道からは日本最高峰の富士山が見えることがあります。さらに高原山には、前黒山の北東方向に富士山（ふじやま・那須塩原市）があり、今も火山活動を続けているので、高原山は活火山として扱われています。



10 栃木のスカイツリー!

東京オリンピックが開催された1964年（昭和39年）10月3日、栃木県で最初に整備された中継送信所が高原山にあります。県北の平野部を一望できる高原山中腹に立地。テレビ電波塔の中継基地として県内の4分の1の面積をカバーしているとも。今年のロンドンオリンピックが見られたのも中継基地があるからです。いわば、「栃木のスカイツリー」です。



7 高原埋蔵金伝説!

江戸で大火があった後、江戸城を修繕するための材木を高原山に仕入れにきた役人がいたそう。しかし、その役人は急きょ江戸に帰らざるを得なくなり、大判小判の大金を高原山のどこかに埋めていったとのこと。その後、役人は戻って来ず、木の仕入れも取りやめに。その時の大判小判が「ウンウン」うなるほど埋まっている噂があるようです。本当なら、まさに埋蔵金ですね。



8 高原山でお天気占い!

北部の泉地区では、昔から「朝、高原山の頂上に雲がある日は風が吹く」と言われています。朝は良い天気でも日中に強い風が吹いたり、雲がかかったりするようです。皆さんも洗濯や布団を干すときに参考にしてみてください。

5 伝説のお寺があった?

そのお寺は法楽寺（ほうらくじ）、奈良時代前期から平安時代初頭まで存在したといわれています。山号は与楽山。開山は行基とのこと。山の東南麓の田野原、平野、立足、長井、山田、幸岡に観音寺（六観音）を建立し、それらを拠点として法楽寺を建立したとされていますが、今となっては、どこに存在したのか誰にもわかりません。法楽寺は落雷による焼失後に移築、寺山観音寺となり現在に至ります。



6 自分の身は自分で守る!

八方ヶ原を象徴する植物といえば、市の花にも指定されているレンゲツツジ。約20万株もの群生は国内最大級の規模を誇ります。かつては、放牧場もありましたが、レンゲツツジには毒成分が含まれるので、動物に食べられずに生きのびたようです。養蜂業者の方は、レンゲツツジが自生している所では蜂蜜を採集しないか、開花期を避けるなどしているようですよ。

3 あの著名人の歌があるんです!

歌人として有名な与謝野晶子さんが高原山の歌を残しているんです! 鬼怒川によく来ていたという記録が残っていて、鬼怒川温泉を訪れた時の歌とされています。ちょうど私たちとは反対側から高原山を見ていたのでしょう。

水を越え 岩に到ると
胸をどる 高原山を
得しやうにわれ



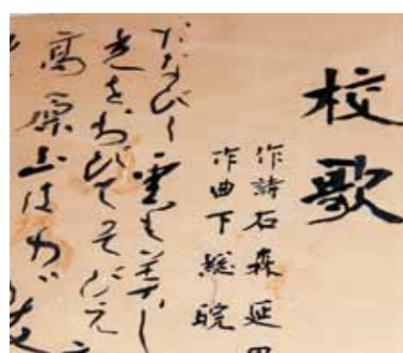
4 なぜ、地名に「学校」平?

明治37年ごろに、矢板薪炭合資会社が設立されました。この会社では炭の生産を行い、明治38年ごろには、74もの炭焼窯があったとされています。多くの家族が山に入ったため、今の「山の駅たかはら」の近くに明治43年、私立奥村尋常小学校が許可され、子弟教育につとめられました。これが「学校平」の名前の由来となっています。



1 高原山に不動明王?

高原山の主峰・釈迦ヶ岳は釈迦如来を意味し、東南にある剣ヶ峰は山の頂上に高くそびえる岩石があることから、不動明王の降魔の剣の先と考えられており、山全体を不動明王として崇拝していたものではないかと推測されます。さらにこれを裏付けるものとして、剣ヶ峰の南側の平地は観満平と呼ばれ、不動明王の真言の最後の一句からその名を頂いたという説もあります。



2 「さん」「やま」どっち??

山の読み方は、特に決まっているわけではなく、山名辞典を見ても「さん」「やま」どちらでも良いそうです。市内のほとんどの小中学校の校歌でも「高原山」が歌われていますが、読みは「たかはらやま」がほとんどです。

高原山には、ほかにいろいろな魅力がたつぷり!
歴史、自然、文化などの角度から「高原山」の雑学を10個、ご紹介いたします。

たかはら雑学 10

いくつ、ご紹介できますか?!